

シモキタのはら広場

活動の場所

東京都世田谷区北沢2丁目
下北線路街 シモキタのはら広場



活動目的

東北沢～下北沢～世田谷代田間の小田急線が地下化され、市民からの要望に応じて線路跡地の随所が緑化されました。中でも下北沢駅から徒歩1分の「シモキタのはら広場」は、昔からあったかのような野原と雑木林となっています。管理を市民団体が担うことで、生態系豊かな自然と触れ合える場を目指しています。

活動内容

小田急線の下北沢駅を中心とした三駅の地下化に伴う地上線路跡地の再開発においては、世田谷区が参加と協働の場を設けたことで、自治体・開発事業者・周辺住民の話し合いの成果としての「下北線路街」が誕生しました。その一つの魅力が豊富な緑化です。それまで緑が少なかった下北沢地域に、この機に緑を増やしてほしいという提案を2011年頃から市民グループが続けていましたが、その声に応じて、小田急電鉄は採算度外視で植栽部分を増やし、世田谷区も施設整備よりも緑地を優先しました。

2019年～2022年に整備された下北線路街の緑を守っていくために、2020年に結成されたのがシモキタ園藝部です。緑化を提案してきた市民たちと、ランドスケープのグランドデザインを担当したデザイン会社のメンバーが合流して発足したものです。2024年9月現在で会員約240名に成長しました。

1.6kmにわたる緑の散歩道の中でも一番自然度が高いのが、2022年にオープンした「シモキタのはら広場」です。下北沢駅から徒歩1分のロケーション、線路だった場所に生まれた野原と雑木林です。さまざまな草花や樹木、虫たちと共生する野生の庭をコンセプトに設計され、更地に種をまくところから始めました。近寄りがたい綺麗な庭園ではなく、五感で味わい、子どもたちが虫や植物とのびのびと触れ合える「都会の原っぱ」を目指しています。植えた植物以外の雑草・雑木なども選択的に残し、殺虫剤や化成肥料などは極力使わずに管理しています。植生調査は開園直後から、昆虫を中心にした生きもの調査も2023年から開始しました。

植栽管理はもちろん、刈った草や落ち葉を堆肥に循環させる活動、街の里山として収穫物を活かす活動、来園者への自然体験プログラムなど多岐にわたる活動を行っています。

PRしたいポイント

- ・駅至近の立地、「下北沢」の街の人気を生かして、これまで自然や生物多様性に関心があまりなかった人の気付きを促す可能性がある場所です。
- ・シモキタ園藝部の拠点の建物もあり、30 by 30の周知の場としても活用可能です。

活動効果、今後の展開 等

○シモキタ園藝部の取り組みは緑の都市賞内閣総理大臣賞を受賞しました。TV新聞ラジオ雑誌ウェブ等様々な媒体で継続的にお取り扱いいただいています。

○土・水・地中の空気の環境改善を学んで実践していく予定。

○助成金をいただいている積水ハウスとのコラボレーションも検討中。